

星野学園小学校新聞

星野学園小学校
埼玉県川越市上寺山216-1
〒350-0826 Tel.049(227)5588
星野学園小学校 Web
www.hoshinogakuen.ed.jp/hes/

星野学園小学校 Web

本校のウェブページでは、星野っ子の日常や、楽しい行事の様子をアップしております。本紙と併せてご覧ください。

更新中!

1年生 2年生 春の遠足

1年生

五月十二日(水)、一年生七十七名は「埼玉県こども動物自然公園(埼玉県東松山市)」に向かった。一年生にとってこの春の遠足は、入学後初めての校外学習になる。当日は晴天に恵まれ、遠足日和となった。



はじめての校外行事に嬉しさが溢れました

本校には数多くの行事があるが、どの行事においても行事の事前、事後学習を大切にしている。今回の春の遠足では、主に生活科の授業の中で、事前学習を行っていた。クラスごと二列で整



多くの動物とふれあうことができた



晴れた空の下で遠足を楽しむことができました

当日、子どもたちが遠足で楽しみにしていたのが、様々な動物を見学することだ。カンガルーやコアラ、キリンなど、子どもたちは珍しい動物に興味津々であった。大きな動物がえさを食べている様子や、つかりと自分の足で歩いている様子を見て興奮したり、生き物特有のにおいなどに喜んだり、歩くのをとても楽しんで公園内はとる様子であった。この春の遠足を通して長い距離少し大きくなった一年生を、自分の荷物を持つ成長するかが楽しみだ。(山岸)

四月二十七日(火)、二年生は、感染症対策を万全に行つた上で、「川越水上公園」の春の遠足へ行つた。天候の恵ま

2年生



制服をきれいにハンガーにかけられました

二十分休みや昼休みになると、目を輝かせて星野ドームや遊具場へ行き、皆で仲良く遊んでいる。誰とでも分け隔てなく仲良くできることが、この学年の良さである。(木戸)

学校の帰ってきながら、屋上で弁当を食べる。初めて屋上を訪れた二年生からは、とても嬉しそうに笑顔が溢れた。距離をたくましく育つてほしい。(山岸)

学校にあるものを紹介する活動を行った。教科の学習では、国語で「iPad」

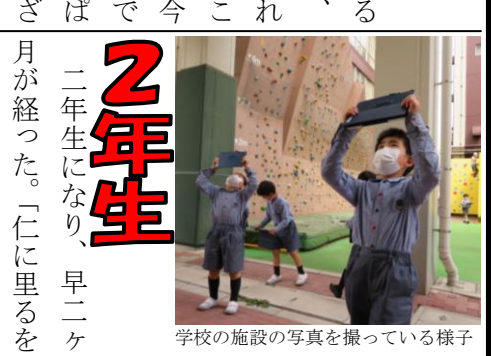
植物を観察し、「春の遠足」に絵や文で記録することができた。さらには、往復の道中では、整列し、右側通行をする等、マナーを守りながらガード場をボルダリングをして遊んでいる。子ども同士で仲良く遊び、仲直りの後には、学校生活の中で様々な経験を

植物を観察し、「春の遠足」に絵や文で記録することができた。さらには、往復の道中では、整列し、右側通行をする等、マナーを守りながらガード場をボルダリングをして遊んでいる。子ども同士で仲良く遊び、仲直りの後には、学校生活の中で様々な経験を

植物を観察し、「春の遠足」に絵や文で記録することができた。さらには、往復の道中では、整列し、右側通行をする等、マナーを守りながらガード場をボルダリングをして遊んでいる。子ども同士で仲良く遊び、仲直りの後には、学校生活の中で様々な経験を

植物を観察し、「春の遠足」に絵や文で記録することができた。さらには、往復の道中では、整列し、右側通行をする等、マナーを守りながらガード場をボルダリングをして遊んでいる。子ども同士で仲良く遊び、仲直りの後には、学校生活の中で様々な経験を

一年生の成長を感じる場面は行事だけでなく、普段の学校生活にも溢れている。入学当初は手こずっていた着替えも、今では素早くすることができ。また、元氣いっばいな声で「おはようございます」「こんにちわ」と挨拶をしている。着替えや挨拶など、当たり前のことを当たり前にできるようになり、一人ひとりが自分の目標を掲げ、日々励んでいる。二年生になり、自ら考えて、時間を意識して行動する等、年齢に応じた成長が著しい。また、身の回りの整理整頓を熱心に行う等、クラスのために思いやりある行動をとれるようになった。



学校の施設の写真を撮っている様子

1年生と2年生の成長

iPadで変わる授業の在り方

四く六年生は、一人一台「iPad」を所持し、授業やクラス間でのコミュニケーションツールとして使用している。総合的な学習の時間では、調べ学習だけではなく、動画編集アプリ「Movie」で動画編集し、プレゼンテーションアプリ「Keynote」でプレゼンテーションを作る等、活動の幅が広がっている。



さまざまな授業で活用しています

六学年の授業では、主に撮影し、画像や動画を貼っている。

授業支援アプリ「MetaMoji Classroom」を使用して、一度の授業でしか学習できなかったが、データを残すことで、その後、何度でも確認することができるようになった。

「MetaMoji Classroom」は、あらかじめ「MetaMoji Classroom」に貼り付けておくと、一人ひとりが動画を見て、繰り返し学習することが可能だ。そして、実験の様子を自分

上のノートに実験動画を貼り付けておくと、一人ひとりが動画を見て、繰り返し学習することが可能だ。そして、実験の様子を自分



ノートとiPad、両方の良さをいかして学習しています。また、各教科のプログラミング学習でも「iPad」が活躍し

他学年では、例えば四年生が総合的な学習の時間で、プログラミング的

「Code.org」というウェブサイトで、プログラミングのレッスンを主体的に

を受けている。このレッスンを通して物事を筋道を立てて考えることができ

るようになり、ある児童は「学んだことを活用して、scratchでアニメーションやゲームを作りたい」と話している。

教科や活動によって様々な使い方ができる「iPad」は、汎用性が高く、子どもたちも楽しんで学んでいる。工夫次第で使い方は計り知れない。これからの子どもたちの活動の幅が広がるよう、試行錯誤は続くだろう。(宮澤)

クラブ活動と七つの魅力

星野学園小学校には現な遊び道具にも科学は隠

在、七つのクラブ活動がされており、遊びながら学べる科学に、子どもたちは熱中している。参加学年は、四く六年生。活動回数は週一回だが、その一回に懸ける子どもたちの思いは熱く、その場を提供する教員にも、気合いが入る。今回は、それぞれのクラブの魅力伝えていきた

クラフトクラブ

黙々と両手を動かし編み物をする姿、縁鉛筆片手にキャンパスに向かう子もいれば、段ボールを

音楽クラブ

星野学園と言えは「お祭」である。毎年九月に行われる「星華祭」に向けて、

パソコンクラブ

一人一台のパソコンが用意され、レゴブロックやロボットを組み立てたり、スクラッチでゲームを作ったりと、各自のレベルに合わせて、プログラミングを学んでいる。

科学クラブ

様々な実験を通して、科学の不思議を体験する子どもたち。毎時間の驚きと発見に瞳がキラキラと輝いている。また、様々

星野学園と言えは「お祭」である。毎年九月に行われる「星華祭」に向けて、

星野学園と私

これまで星野学園から多くの卒業生が巣立っていった。今回は、再び教員として学園に戻ってきた四名の先生方に一言ずつコメントをいただいた。

私が所属していた箏曲部は、中学時代に星華祭を見学し、レベルの高さの多さは並大抵のものではなく、高校三年間は部活漬けの毎日でした。勉強と両立するうえで心

三つのチームに分かれ、チームごとに教員の指導の下、練習している。自主的に積極的に取り組む子どもたちのモチベーションは、三週間に一度

星野学園での学びは人生の学びです。(敦賀)

私は、高校時代、音楽部の所属していました。毎日の活動と学習との両立のため、毎朝、必ず予習の時間を設ける等、生活のリズムを整えることができていました。星野の魅力は何よりも「真面目がかっこいい。」

星野で印象的に残っている学びといえば、「礼儀」です。「真面目がかっこいい」を掲げる星野では、礼法指導がしっかりと行われますが、形だけのものではありません。「礼を尽くすことは相手

星野の魅力を今でも覚えています。星野学園小学校での児童は、毎朝、爽やかな笑顔で気持ちのよい挨拶ができます。今後と考えるようになりまして。小学生の時から星野

礼儀が学べることを羨ましく思います。(富田)



ボールクラブではドッジボールなどをしています

きかない高さにも、安全器具を装着して挑戦することができ。その他、遊具場や体育館等の運動施設を活用し、楽しく健康的に体を鍛えることができます。(森田)